

会務報告

平成23年9月～24年2月

- 秋田市文化章(書道)受章に寄せて
題字「築山協だより」の揮毫者
茂林 憲子さん(栖山南中町)
- 本会報の題字「築山協だより」を揮毫された書道家・茂林憲子さんは昨年11月3日、文化振興の貢献が認められ、秋田市長から市文化章が贈られました。心よりお祝い申し上げます。茂林さんは、孝華書院院長として後進の指導に励み、書道の普及に寄与されました。
- なお、「広報築山民児協」も全世帯配布の題字揮毫も茂林さんです。
- 平成23年9月以降 (敬称略)
- 全日本交通安全協会会長表彰
交通安全功勞
佐藤 敏 勝(栖山太田町)
- 県警察本部長表彰 防犯功勞
進藤 昭(栖山古川新町)
- 市社会福祉協議会会長表彰
地域福祉活動
佐々木 正 次(栖山城南町)
- 佐藤 義 孝(栖山愛宕下)
- 秋田中央警察署長表彰 防犯功勞
齋藤 博 子(南通みその町)
- 市民憲章推進協議会会長表彰
住民活動
佐藤 清 一(栖山金照町)
- 市緑化推進委員会会長表彰
緑化推進
高橋 安 成(栖山南新町)
- 伊勢 定 正(南通築地)

慶祝

おめでとーございませう
心より祝福いたします

- 9月9日 共同募金説明会へ会長と事務局長が出席
- 9月10日 「築山協だより第40号」を民生委員、町内会長の手を借りて全世帯に配布
- 9月18日 敬老会該当者全員に町内会長の手を借りて綿シートの記念品と敬老会名簿を配布
- 9月19日 社協役員、民生委員の手を借りて地区敬老会式典・祝賀会の準備
- 9月20日 恒例の地区敬老会を栖山コミセンで開催
- 9月24日 第3回グラウンドゴルフ大会を友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施
- 10月1日 赤い羽根共同募金運動の推進開始
- 10月6日 秋田ワークセンターへ福祉協力員、役員の研修依頼
- 10月22日 第4回グラウンドゴルフ大会を太平山グラウンドゴルフ場で実施
- 10月26日 市文化会館で開催の市社会福祉大会へ参加(佐々木正次氏、佐藤義孝氏が受章)
- 10月27日 秋田ワークセンターで福祉協力員、役員の視察研修を実施
- 11月6日 栖山コミセンでポリーングや輪投げなどの軽スポーツ大会を開催
- 11月17日 地域福祉関係推進者連絡

- 11月29日 地域老人クラブ、児童育成施設、福祉関係諸団体等に助成金を贈呈
- 11月30日 赤い羽根共同募金を市共同募金会へ送金
- 12月1日 歳末たすけあい募金運動の推進開始
- 12月8日 第一会館で開かれた秋田市7地区研修交流会へ役員4名が参加
- 12月13日 市社協会費(3,222世帯分)を納入
- 12月14日 佐々木優子さん(栖山太田町)から贈られた雑巾を築山小学校と、若竹学園へ贈呈
- 12月26日 地区配分会を開催し、歳末たすけあい募金を要援護世帯や母子家庭などに一律5千円を民生委員を介して配布、福祉3施設に果物を贈呈
- 「市社協だより第54号」を民生委員、町内会長の手を借りて全世帯に配布
- 1月14日 歳末たすけあい募金で75歳以上の一人暮らし及び、80歳以上の高齢者のみの世帯等にお茶を持参する激励訪問を民生委員等の協力で実施
- 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動実績報告書を町内会長へ配布
- 1月30日 「幼児と高齢者の集い」を主任児童委員等の協力を得て栖山コミセンで実施
- 2月22日 市社協Bブロック研修会へ参加
- 2月23日 市社協主催の会長・事務担当者研修会及び地域福祉活動合同研修会へ出席(市文化会館)
- 2月26日 地区カラオケ大会を栖山コミセンで開催

社協の定期総会開催予告

24年度の築山社協の定期総会を次のとおり開催します。町内会長、社協役員、福祉協力員の皆様には是非ご出席下さいますよう予めお知らせいたします。

日時 4月28日(土)午後2時
場所 栖山コミュニティセンター

◆編集後記◆

2010年10月1日の国勢調査の結果、人口減の基調と共に本県の高齢化率(総人口に占める65歳以上の割合)は約30%で全国最高率、秋田市でも4人に1人が65歳以上です。▼政権党内閣では昨年末、後期高齢者医療制度の廃止・見直しを閣議決定しましたが、ここで観点を変えましょう。市井を見渡すと高貴高齢者はいざ知らず、光輝高齢者(光頭には非ず)は多士済々▼華やかに目立つ御仁もおりますが、控え目にいぶし銀の如く長年培った技の冴えを底に湛える方もいらつしやる。灯火を点すように「隅を照らす」人も御出です。▼翻して3月は東日本大震災から1年。編集子は小欄の後記に、精々祈願を認めます。一陽来復! (北條 晃)

編集委員 北條 晃
加藤 俊悦
樋渡 久孝
久孝
久孝
久孝
連絡 先(事務局) 樋渡 久孝

第41号

平成24年3月1日
築山地区社会福祉協議会
発行人 加藤 俊悦
(題字:茂林 憲子)

築山協だより



待春

本年も桜前線の北上を俟つ太平川・河畔の桜並木。風光明媚な地区民の憩いの場として親しまれる。築山明朗会による昭和35年の植樹。先人の英知に想いを馳せながら、堤防際の末永い安泰を請い希う。写真は左岸から百石橋方面を望む。昨年4月下旬撮影(北條 晃)



みんなで「減災」

築山地区社会福祉協議会
会長 加藤 俊悦

東日本大震災発生から1年。家庭や近隣同士ではどのような震災への備えに取り組んでいますか。昨年10月に開催した「築山地区防災シンポジウム」で、築山小学校舎が海拔5m、南中学校舎は7m地帯にあることを初めて知り、巨大津波の想定を念頭に置いた防災意識の向上と自主防災の重要性を改めて痛感しました。今年、「減災」に焦点を当てたシンポジウムを企画したいと考えています。さて、昨年11月に、秋田大学と県の共催によるシンポジウム(日本海側北部地域における震災とその対策について)に参加しました。石巻市の亀山紘市長と工学資源学部・松富教授の講演を拝聴するためです。震災地の被災状況津波に関する学術的な調査報告がお二人の講演の主題でした。津波警報が発令された時、私たちは瞬時にどう考え行動すべきか。石巻市長は被害に遭われた人々の行動などを分析し、生死を分けた事例を次のように紹介されました。

- 自家用車等で避難を開始したため、片側通行の狭い道路で身動きができず、そこに津波が一気に押し寄せた。
- 津波の第一波が50cm程度であり、家に引き返してしまい被害に遭った。
- 宮古市の例。津波が巨大堤防を越えると思わず、すぐに避難しなかった。
- 「津波警報が出たら直ちに高台へ!それが尊い命を守る第一条件!」。実体験者としての石巻市長からの教訓を私たちの防災に活かさなければと痛感しています。ところで、私たちが屋外にいる時に災害警報が発令された場合、情報をどう把握できるでしょうか。その一方法として『防災ネットあきた』の登録をお勧めしたいと思います。(2・3面参照)
- 近年、「みんなで減災」というキーワードをよく耳にします。「減災」とは、災害による被害をできるだけ小さくする取り組みといわれています。内閣府(防災担当)のホームページで家庭や地域で役立つ情報が冊子として紹介されていますので参考にしてください。
- なお、自主防災組織の発足ペースが震災後に倍増した状況をマスコミが報道しています。「自らの地域が自らを守る」。その支援体制づくりにご尽力される方々に深く敬意と感謝を申し上げます。今後とも安全・安心の地域づくりを皆様と共に進めていきたいと思っております。

平成23年度各種募金運動の実績報告書

付記：社協会費納入状況 皆様のご協力に厚くお礼を申し上げます。

単位：円

No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費	No	町内会名	日赤社資	赤い羽根	歳末募金	社協会費
1	宮田	57,000	71,000	20,000	54,000	39	米沢町	9,000	11,800	2,210	6,480
2	JR宮田自治会北	10,000	24,000	8,000	8,000	40	登町東部	18,500	46,400	7,150	19,080
3	JR宮田自治会南	2,500	1,800		1,800	41	登町中央部平和会	10,000	21,000	4,290	12,240
4	イーストハイム宮田	10,000	32,400	7,020	19,440	42	登町西部	24,000	29,000	6,000	16,560
5	築地北町	20,400	17,800	3,510	9,720	43	亀ノ丁栄町	9,000	15,000	3,000	6,840
6	築地東上町	21,400	16,400	6,640	10,800	44	餌刺町	38,000	34,000	10,000	25,000
7	築地窪町	15,000	15,400	2,500	6,840	45	九郎兵衛殿町	35,000	34,000	8,000	19,800
8	築地上本町	25,000	51,000	6,500	18,000	46	筑町	27,000	27,000	7,800	21,600
9	築地下本町	26,000	16,200	6,630	18,360	47	三枚橋町	45,600	64,000	9,750	27,360
10	築地中町	22,000	22,000	6,630	18,360	48	愛宕下東丁	7,500	12,200	2,210	6,120
11	築地西町	10,000	14,000	2,000	7,200	49	愛宕下西丁親交会	26,000	30,600	5,980	16,560
12	築地睦会	6,500	7,000	1,300	3,600	50	愛宕下南丁	11,000	13,200	2,860	7,920
13	榎山本新町上丁	14,100	19,200	5,460	15,120	51	愛宕下北丁	18,500	19,000	4,680	13,320
14	榎山本新町下丁	24,000	31,000	5,600	14,400	52	愛宕下中丁	16,500	19,600	4,030	11,160
15	榎山上本町	10,000	24,000	5,000	6,000	53	城南町	27,900	36,600	8,060	22,320
16	榎山本横町	9,000	21,000	4,000	12,240	54	金照寺山	15,500	11,000	10,000	12,600
17	内木町	17,500	19,800	4,290	12,600	55	榎山寺小路北部	11,700	10,700	3,700	13,320
18	榎山本町下丁	9,000	12,000	2,730	6,480	56	榎山寺小路南部	14,000	29,800	5,200	14,400
19	榎山古川新町	12,000	81,000	20,000	46,800	57	城南みなみ	9,000	26,000	5,000	10,400
20	百石橋通り	17,000	15,000	3,000	8,640	58	榎山石塚谷地	6,000	24,000	6,000	14,040
21	柘取町親睦会	9,500	14,000	5,000	10,800	59	榎山(大元町)	80,000	102,000	25,000	36,000
22	末無町	24,400	33,200	10,270	28,080	60	榎山石塚町	35,600	39,400	12,000	35,280
23	医王院前町	21,150	28,150	6,110	16,920	61	榎山石塚新町	56,500	48,000	20,000	57,600
24	榎山広小路	13,250	12,500	3,510	9,000	62	太田町本町	17,500	19,400	3,900	10,920
25	榎山虎ノ口新町	24,000	29,000	9,100	25,000	63	太田町山水会	19,100	27,200	4,160	11,520
26	南新町	85,000	85,000	24,700	61,200	64	太田町東部	6,000	18,000	3,900	10,800
27	森林管理局榎山	12,000	14,400	3,120	8,640	65	太田町睦会	4,000	7,800	1,690	5,040
28	太平	9,500	11,400	2,470	6,840	66	太田町栄町	9,000	10,800	2,340	6,480
29	牛島橋通町	9,000	53,000	8,200	22,680	67	太田町南町	13,500	20,200	4,510	9,720
30	牛島橋通り南部	17,000	20,400	4,420	12,240	68	太田町新町	14,000	26,000	4,030	10,800
31	榎山共和町	6,000	7,000	1,300	3,600	69	太田町旭町	12,500	13,800	2,340	6,480
32	榎山下浜町	33,500	48,400	10,000	23,040		町内会合計	1,381,100	1,946,550	452,350	1,159,920
33	川口境西部	16,500	25,500	4,030	11,880		日赤奉仕団築山分団	10,000			
34	登町南部	49,000	63,000	13,000	36,000		秋田南中学校生徒会		37,873		
35	川口境東部	32,500	47,000	10,140	28,080		築山小学校児童会		11,374		
36	若草団地	10,000	53,100	13,000	43,200		城南園		5,871		
37	入川橋	13,500	24,600	3,250	9,720		その他	50,000			
38	十軒町	9,500	17,400	2,470	6,840		総計	1,441,100	2,001,668	452,350	1,159,920

大震災・水害・土砂災害から身を守る

築山地区防災シンポジウムを開催

築山地区防災シンポジウム(築山地区ふれあい協議会主催)が昨年10月1日午後1時30分から築山小学校体育館で開催されました。同年3月11日、未曾有の「東日本大震災」から約6ヵ月、浮かび上がった大地震、津波、集中豪雨、土砂崩れ等から身を守るために「どんな課題があるか」、「どんな備えをするべきか」、専門的見地からの助言や情報を得ながら、築山地区の防災の在り方を探る住民参加の集会でした。



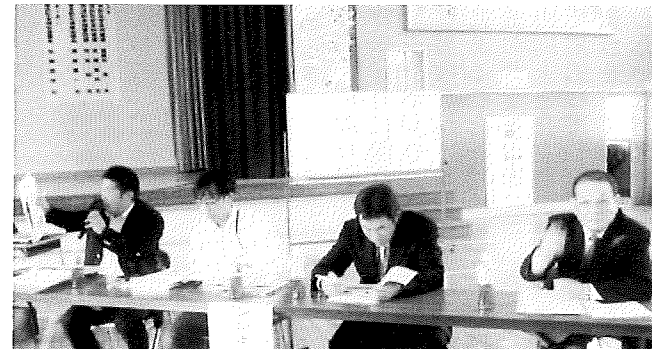
災害に強い地域づくりについて語り合った

当日の参加者は、天候のせいか想定より少ない120名程度。冒頭、主催のふれあい協議会・高桑博会長が挨拶、当社協の加藤会長がコーディネーターとなつて進められました。

最初に秋田市の防災対策について、シンポジストの伽羅谷、佐藤両氏がスライドを上映しながら「総合防災訓練は毎年地区を変えて実施する。災害時に備えて別表のとおり築山地区では7カ所を避難所として指定、南中に食糧、生活必需品等を備蓄している。築山小学校が海拔5m位なので、特に水に対する備えが必要」などと説明。津波対策としてハザードマップを各

シンポジスト(敬称略)	秋田市総務部防災安全対策課 (自主防災組織担当)
	主席主査 伽羅谷 浩 技能員 佐藤 高司
	秋田市消防本部 警防課 主席主査 安田 聡
	築山地区自主防災連絡協議会 会長 藤原 賢一
コーディネーター 加藤 俊悦 築山地区社会福祉協議会会長	

まず「自助」そして「共助」、「公助」



左から伽羅谷 浩、佐藤高司、安田聡、藤原賢一の皆さん

小学校区ごとに作成しており、市では中心部の堅牢な高層建物を避難場所に出ないか検討しているようです。また「防災ネットあきた」3面参照は警報、注意報のほか災害情報、気象情報などを知らせるもので、市民誰でも登録出来ます。

市内会などの自主防災組織は市全体で66%の結成率、築山地区は70町内会のうち、結成は39(約56%)です。市では未結成の町内会長に個別に働きかけたり、結成後のフォローに取り組みています。各組織の反復訓練が望まれるところ。

市消防本部の安田氏は「消防団はその施設、人員を活用して市民の生命、身体、財産を火災から保護する任務がある。平素から水防倉庫、資機材の点検

災害時の指定避難場所・施設 (築山地区・近隣地域含む)

場所・施設名	屋外	屋内
築山小学校	○	○
秋田南中学校	○	○
城南中学校	○	○
榎山緑地	○	-
榎山コミセン	-	○
聖霊高等学校	○	○
聖霊附属中学校	-	○

※災害時、市は指定避難所の運営を行う

自主防災の藤原氏からは平成14年、豪雨で太平川が氾濫しそうになり、避難勧告を出してもらった苦労話。当時の築山小学校長・加藤コーディネーターからも榎山古川新町の20世帯に避難勧告が出され、その準備、避難して来た足の不自由な人を2階の体育館へ上げたり、夜中お世話する人を確保する難儀などが浮き彫りにされました。

また臨席の築山小・南中の両校長から、東日本大震災・被災地区の学校の様子から児童・生徒たちの帰宅方法を見直した事、避難訓練を計画したこと等の話も。参加者の質問の中で「津波が雄物川の堤防を越えることもあるかも知れない、市としては県の指針が見直され次第、対策を検討したい」との応答がありました。

地域の防災・減災対策として、我が身・家族の安全を守る「自助」、続いて近隣の高齢者や障がい者に声を掛け合う「共助」、行政の「公助」にすべてを頼らない等が基本といえます。

防災情報を早めにキャッチ！ 防災情報のメール配信！

秋田市災害時情報提供システム「防災ネットあきた」に登録してみませんか

災害から身を守るためには、第一に的確な情報を得ることが大切です。また、注意報や警報を早めに把握することによって、避難行動のための時間を確保することもできます。

注意報・警報が発令されたときは、右のような情報が事前に登録したメールアドレスに、携帯電話やパソコンを通して手元に届きます。

登録を希望する場合は秋田市ホームページをご覧ください。登録は無料ですが、通信費は登録された方の負担です。

(パソコン)
<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ds/system>

(携帯サイト)
<http://www.city.akita.akita.jp/i/gn/ds/s/l.htm>

☆提供されるおもな情報は↓
避難勧告等の避難情報、床下浸水警戒、
河川増水、土砂崩れ、有害化学物質漏洩事故 など

☆詳細についてのお問い合わせは↓
秋田市総務部 防災安全対策課 (消防庁舎内)
Tel 018-866-2021 E-mail ro-gnds@city.akita.akita.jp

携帯電話でのEメール受信例

○akita-bousai@bousai……
○〔秋田市防災メール：注意報・警報〕
○09/20 04:27

発表時刻：2011年09月20日04時27分
こちらは秋田市の防災ネットあきたメール配信システムです。

■大雨警報が発表されました

[詳細情報はこちら](#)

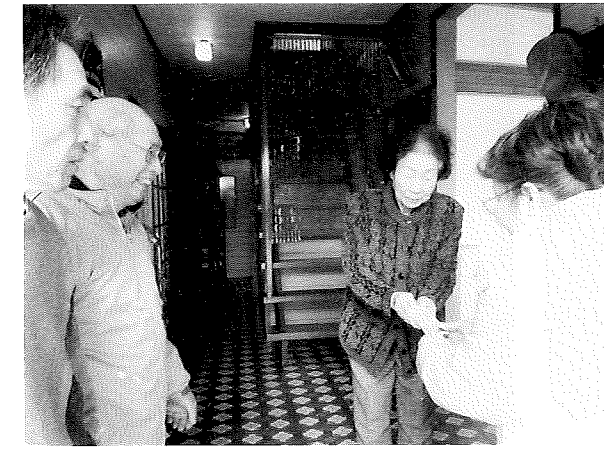
<http://www.bousai-mail.jp>

*上記のアドレスに接続するとリアルタイムで詳細な情報が得られます。



23年度歳末たすけあい募金 築山地区は様々な手法で運用

築山地区共同募金会(加藤俊悦会長)が昨年12月に推進した歳末たすけあい運動は共同募金の一環です。毎年誰もが「明るいお正月を迎えられますように」と住民相互のたすけあいの心の醸成に大きく寄与して来しました。このたびは各町内会のご尽力・特篤家の芳志で総額45万2350円の募金が寄せられました。(7面参照)



お茶を配り 高齢者を激励訪問

1月中旬、当社協では民生委員等と連携して、高齢者への見守り活動を地区内一斉に実施しました。対象は75歳以上のひとり暮らし361人、80歳以上の高齢者のみ・103世帯、ねたきり高齢者16人、計480人(世帯)。

歳末たすけあい募金の一部を活用、用意した煎茶を1本ずつ届け、高齢者の安否確認を兼ねての激励訪問でした。

写真=榎山太田町では福祉協力員、民生委員、町内会長らがチームを組み、高齢者と触れ合った

を介して年末までに一律5千円をお届けしたところで。内訳は、
○生活困難世帯 (いずれも生活) 6
○母子世帯 (保護者を除く) 8
○65歳以上のねたきり高齢者 7
生活困難世帯とは、疾病、心身障がい、罹災、失職、所得の減少などで暮らし向きが苦しい家庭を指します。贈呈世帯数は年々減少傾向にあり、因みに平成14年度は89世帯でした。これは豊かな家庭が多くなったのではなく、生活保護家庭は年々増加の一方で。



受注刊行物の編集・仕上げをする入所者たち



フラダンスを披露するプルメリアの皆さん



プレゼントの果物箱を受け取る婦人ホーム施設長・佐々木ケイ子さん(左)

たすけあい募金贈呈先を決めるに当たっては、下調べを各民生委員に依頼しておりますが、近年個人情報保護の兼ね合いもあって、所謂ボーダーライン層の見極めが困難になったことにも依ります。従って従来の個別支給から福祉施設へと、市内各地区でも舵取りを変えつつあります。

この募金には本質的に、激励・見舞金の意味合いがあることから、築山地区でも、地域の福祉施設へ果物等の贈呈を実施しております。昨年12月27日母子生活支援施設・婦人ホーム(榎山古川新町)、川口デイサービスセンター(榎山登町)、知的障がい児入所施設・若竹学園(横森の3施設へ、りんご、みかんをお届けして、入所(利用者)者から大変喜ばれました。

さらには、ひとり暮らし高齢者等への激励訪問時に届ける煎茶の購入費にも充てております。(別稿に関連記事)

善意の(ご)寄付

(平成23年4月〜平成24年2月)

- (ご)香典返し
- 10万円 (亡夫 秀次郎さん)
- 榎山寺小路 鈴木 夏代 様
- 10万円 (亡夫 栄治さん)
- 榎山南中町 鎌田 良子 様
- 5万円 (亡父 一男さん)
- 榎山登町 泉 一志 様
- 5万円 (亡父 清作さん)
- 榎山愛宕下 清治 悟 様
- 1万円 (亡兄 雍典さん)
- 榎山本町 熊倉 康典 様
- 篤志
- 1万円 加藤 俊悦 様
- 榎山南中町 加藤 俊悦 様
- 1万円 廣島ふとん店様
- 川元むつみ町 佐々木優子 様
- 雑巾400枚
- 榎山太田町

佐々木優子様からは、長年に渡って手作りの雑巾をご寄贈されており、このたびは築山小学校と若竹学園にお届けしました。

23年度もたくさんのご寄付をいただき、厚く御礼を申し上げます。皆様から寄せられた御芳志は、地域の福祉に役立させていただきます。「ご香典返し」・「篤志寄付」は、お気持ちのある方が当社協にご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

地区敬老会で楽しい出会い

当社協主催の築山地区敬老会は、榎山コミュニティセンターで昨年9月20日に開催されました。

このたびの案内対象者は満75歳以上(24年3月末現在)の方で、1562名(男573・女989)、前年度の13名増でした。当日の参加者130名を代表して七尾四郎さん(91歳)Ⅱ入川橋町内会Ⅱが「来年も元気で皆さんお会いしましょう」などと挨拶、和気あいあいの祝宴に入りました。

みどり保育園児のお遊戯、築山小学校竿燈クラブ、築山寿コーラス、榎山合唱クラブ、新日本舞踊・瑛会、城南亭鶴亀さんの手品等、盛りだくさんの演芸が参加高齢者を魅了しました。

ワークセンターを視察研修

昨年10月27日、当社協の役員、福祉協力員など25名が参加して、市内下北手柳館にある障がい者支援施設・ワークセンターを視察しました。

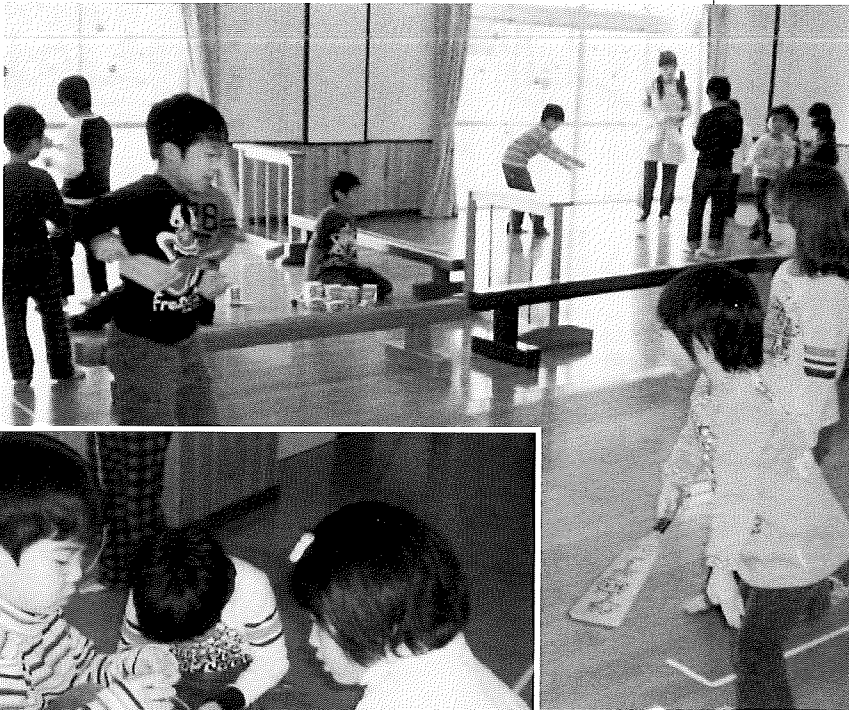
この施設の経営主体は、社会福祉法人・県身体障がい者協会(社会福祉会館内)で就労継続・就労移行の支援、生活介護・施設入所(52名)の事業等を行っております。

就労支援事業は一般印刷(年賀ハガキも)、縫製、様々な軽作業などを通して障がい者が自立生活出来るよう、就労機会を提供します。秋田駅東口から送迎サービスもあります。参加者一同はセンターの機械設備、製造工程を認識、意義のある日帰り研修でした。



2月11日の小正月行事「榎山かまくら祭」の一コマ。築山小学校の4年生(満10歳)が臨んだ「2分の1成人式」では、各クラスの代表者が「将来の夢」や「感謝」を発表した。榎山かまくら保存会(樋渡久孝会長)主催

榎山保育園・園児と「ならやま放課後児童クラブ」の交流風景。このクラブ(小学校1年~3年)は、同保育園が日中、保護者が家庭に不在がちな子どもたちに安全な「伝承あそび」で、すごろく、羽子板、コマ回しなど男・女児の区別なく遊んでいた



餅をついて老幼一緒にいただきながら、みどり保育園・園児の歌などを楽しむ「幼児と高齢者の集い」
榎山コミセン
11月30日



昨年春先、市民憲章推進協議会のメンバーが中心となり行った太平川堤防(牛島橋付近)の大掃除

地域活動
写真で見えるまちの動き



榎山太田町の「なかよし会館」前広場で、かまくらをバックに地域世話人の激励の言葉を聞く築山小学校児童・約120名

昨年10月22・23の両日に開催された「榎山コミセン祭り」の芸能発表に出場した「チームわげもん」がヤートセ踊り(上)を披露。美術部門・展示会場(右)の一角で説明する「木版画教室」の高桑 博代表



築山地区



グラウンドゴルフが出来なくなる冬場に、榎山コミセン体育館で月2回実施している「フロアカーリング」

市社協主催の「いきいきグラウンドゴルフ大会」に築山地区友の会も2チームが参加した。7月29日、太平山リゾート公園内のグラウンドゴルフ場「グリーンパル」で

